

あの手この手

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

第150号 2020年1月10日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行



ベテルギウス玄関
12月26日の生け花

<< 共 育 セ ミ ナ ー 報 告 >>

第87回共育（ともい）セミナー 12月8日（日）

たかが箸、されど箸の箸学「祝箸」 ～正月祝箸の話と折形（おりがた）体験～

講師： 礼法講師・箸文化講師 平沼 芳彩 さん
（NPO 法人 みんなのお箸プロジェクト）



見事な祝箸（平沼芳彩さん提供）

「さあ、漢字で“はし”を書いてみましょう！」…箸
「草だったっけ…竹だったっけ…？」あれ！点がある…
「大晦日には何をしなければいけませんか？ あなた！
“家長”でしょう！」初めから謎かけの様な“粋”な話。

「日本の箸文化」の一端を話されましたが、日頃の習慣
や作法を何と知らずにやっている事か…次々と飛び出す
楽しい話題に身を乗り出して聞いていました。

「祝箸」体験に入る前に、箸・割り箸の歴史や種類を
少し知りました。話を聞く程に奥深い“箸文化”を覗いて
いる様な気になってきます。綺麗な大島紬を着こなした
平沼講師が、祝箸の素材“白木”柳を（家内喜）と書く
様子などは“粋な芳彩（ほうさい）先生”のイメージぴっ
たりです。

チョイといっぷく！ ママスク大和

ママスク大和は、未就園児のお母
さん達が子育てを1人で抱え込ま
ないように、お母さん同士が繋ぐ
ことができる「場」を提供している団体です。

先日、ウィーンホールでママスク大和の「親子クリスマ
ス会」を開催しました。

26組の親子が交流して、最後にサンタクロースが登場！
0～3歳の子供達にとっては初めて見るサンタさんです。
喜んでもらえると思いきや、子供達は一斉に泣き出しま
した。生まれて初めて見るサンタさんは、ただの赤い服
を着た白髪のおじいさんです。怖がって誰も近寄ってき
ません。ママやスタッフは、子供達の泣き顔が可愛くて
大笑い！会場に泣き声と笑い声が響きます。
最後は子供達も落ち着きを取り戻し、サンタさんと歌う
ことができました。ママスク大和のクリスマス会は、泣
き笑いの楽しい会となりました。

ママスク大和代表 松本和美

割り箸も6種類が
並べられました。
よく見るのは
「元禄箸」かな？
茶人「利休」の名
をとったリキウ
箸は、「休んじゃ困
りますね！」
未久しくの縁起を
担いで“利久箸”
（両端が細くなっ
た箸、両口箸）。



祝い箸も両口ですが、どのように使いますか？
早速、色々な意見がありました。「食べた方は他人に失礼
だから、使っていない方を取り箸に！」
「片方が折れてももう一方！」「高級な箸に見えるから」
「子どもに歯周菌が移らない様…」「芋を突つつく時！」
さて何でしょう？ もう一方は“神様”用「神人共食」

続く日本の伝統文化「折形」体験。ツルの箸置きと箸袋を
作りました。箸を置く“ツル”は上手く羽を開いて 準備が
できたと思ったら、難関は“箸袋”…をキレイに整える
「みずひき」です。講師の指導よろしく、いざ自分でやる
と、あの整然とした品のあるカーブ等ほど遠い“捻り”と
“折れ”を生じて全然まとまらない。大晦日どうしよう！

「知らないことを知る楽しさ…知っていることの意味を知
る楽しさ…知っている意味の由来・歴史を知る楽しさ…」
本当に為になる参加者みんなで楽しめた「共育セミナー」
でした。箸文化から始まって、その“持ち方、使い方”にも
繋がりますし、日本独特の“風呂敷”なども上手く使えたら
と思いました。

飽食の時代、贅沢に酔う多くの人々の半面、後を絶たない
子供たちの飢餓社会も存在するのです。
「たかが箸、されど箸！」どの文化をとっても日本人って
素晴らしいな～と思いました。

「センター」のある日ある時

12月8日（日）はレ

ベテルギウスは「こども・青少年課」「児童クラブ入会申請」
と「大和市民活動センター」「共育セミナー」が重なり大賑わ
い。特に、初めてベテルギウスに来られた子どもの手をひい
ての家族が目立ちました。

その日の受付は普段とは違った様子になりました。受付間違
いの人たち、それと「トイレはどこですか？」の人たちが繰
り返しみえられました。トイレマークを指さしても気づか
ない人には一緒に入口まで付き添いが必要の様です。ある男性
「男・女を漢字で書いてよ…焦ったよ…」と女性トイレから
出てきました！ このマークは線型で表示され、看板と違
って背景に消されてしまう様です。

以前お城のある小田原市に行ったら「殿・姫」？大阪天王寺
では「2匹の猫」？ 海外では「2本の太い線」？でビク
リしたことがあります。おまけに有料で…

共通して言えるのは色を変えて、例えば男性は“黒”・女性



は“赤”に分けて表示してあります。
問題はトイレに焦っている人が
見つけられるか？また見た瞬間、
そのデザインや色で判断できる
かです。



今回のテーマは
2030年の世界とわたし”
題名「平和な世界へ！」

インターナショナル賞 受賞
アゴコプラ ジェマイマ ルース カストロさん
南林間中3年
フィリピン

受賞者アゴコプラ ジェマイマ ルース カストロさんからのメッセージ

夏休み中に「2030年の世界とわたし」というテーマをどのように
描けばいいかをずっと考えて、「平和な世界へ！」というテーマを
思いつきました。今までこのようなことをやったことがなかったの
で、一生懸命描きました。やまと国際アートフェスタで「インター
ナショナル賞」を受賞できたことは、とってもうれしかったです。

第89回連続共育セミナーのお知らせ

五味さんのゴミひろい-part2

チャレンジな活動～引地川の清流を取り戻す！～

日時：2020年2月7日（金）13：30～15：30

会場：大和市民活動センター会議室2

講師：五味尚生さん（引地川水とみどりの会 事務局長）

電話、FAX、メールにて受付

※共育セミナーは健康都市大学受講ポイント対象です。



協働事業提案の事前相談受付中！

☆令和2年4月募集予定の「協働事業提案」について、
応募の事前相談を受け付けています。

◆相談受付期間：令和2年3月14日（土）まで
（日曜、第3月曜除く）

◆相談場所：大和市民活動センター

◆申し込み：大和市民活動センター、または大和市
市民活動課までお電話にて

・大和市民活動センター：046-260-2586

・大和市 市民活動課：046-260-5103

大和市民活動センターから展示コーナーのご紹介

団体・個人の活動を紹介することで みなさんの活動の成果を見て・聞いて・知ってもらいましょう！



皆さんからの感想 (掲示わきの“ふせん”を貼ってね。)
12/1～12/15「ハンドメイドコミュニティ」



- ・カッコーフェスタも楽しみにしています。
- ・みんなでちくちく・・・いいなーと思います。
- ・手づくり好きさんの会、私も仲間に入りたいです。
- ・素晴らしい作品だと思えます。



皆さんからの感想 (掲示わきの“ふせん”を貼ってね。)
12/16～12/28「こども・青少年課」

- ・東日本大震災の地震や津波の恐ろしさをテレビの報道ではなく、被災者の方から直接聞き、子供たちが感じた事を報告してある事が素晴らしいと感じました。
- ・こども体験事業をずっと続けて欲しいと思います。

1月の展示予定

上旬「柳とあそぼう引地川」 下旬「ママスク大和」

★展示コーナーの利用については

大和市民活動センターにお問合せ下さい。



FMやまと
77.7 MHz



やまもり☆ホットスクランブル
大和市民活動センターだより
『やまとっこ☆みつけた』

第1.3.5(火)生放送
9:00 ⇒10:00

<出演しました> 録音 CD が大和市民活動センターにあります。

第362回 12/3(火)「デイサービスハッピー鶴間」

デイサービスハッピー鶴間代表の石井直樹さん、ボランティアピアニストの古西夜香(こにしやこう)さん、古西さんの音楽活動をサポートする前田亮一さんの出演。

石井さんはご自身が受けたと思うようなきめ細やかなデイサービスを提供したいとデイサービスハッピー鶴間を立ち上げ、現在、鶴間、高座渋谷でデイサービス施設を運営しています。5年前から地域の方々との交流を目的に音楽を楽しむ「地域交流・ハッピーコンサート」を開催していますが、古西夜香さんは3年前からそのコンサートに参加しているピアニストです。全盲で四肢に障がいを抱えながら2歳の頃から音楽に触れてきた古西さん、曲は音源を聴いて覚えるそうでレパートリーは数百、しかも一度覚えると忘れないとのこと。番組で聴かせていただいた「A列車で行こう」と「瞳を閉じて」の2曲(CD)はピアノを弾く喜びが伝わる素晴らしい演奏でした。

古西さんの音楽活動を支援、車椅子の補助などサポートしている前田亮一さん。カホンという打楽器を始めたそうで、お二人のセッションを聴かせていただける日も近いかもしれません。12月にデイサービスハッピー鶴間での「地域交流クリスマスハッピーコンサート」を終えた後は1/11(土)14:30～「古西夜香ソロライブ」杉田劇場(入場料1口1000円)が予定されています。

デイサービスハッピー鶴間ではボランティア募集中です。

「何も出来なくて…なんてことはありません。

得意なことを活かす人も、得意なことがない人も

活躍しています！」温もりが伝わるメッセージでした。



第363回 12/17(火)「認定NPO法人 スペシャルオリンピックス日本」

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本神奈川理事の杉下由輝さんの出演。アメリカでは95%が知っていると言え、日本では95%が知らないと言われている「スペシャルオリンピックス」、その発祥は1968年、アメリカのケネディ元大統領の姉が知的障がい者であったことがきっかけとなり多くの国民に知られることになりました。

スペシャルオリンピックスはスポーツを知的発達障がいのある人たちの競技のみでなく、仲間作り、体力作りとして捉え、様々なスポーツトレーニングの発表の場である競技会を提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。

真の勝利者の定義は勝負の勝敗ではなく、勇気を持って挑戦し、途中で諦めることなく最後までゴールを目指した人こそが称賛されるというもので「世界のNo.1を決めるのではなく、世界のオンリー1を決めるのがスペシャルオリンピックス」です。

杉下さんには大和市民活動センターで第88回連続共育セミナーとして「知っていますか？スペシャルオリンピックス！」～パラリンピック、デフリンピック、そして「スペシャルオリンピックス！」の違いは？～

をテーマに講演をしていただきます。

開催日時：1/19(日)13:30～15:30

会場：市民活動拠点ベテルギウス

2階会議室 参加費無料



<12月の出演団体> 77.7MHz 9:00 お忘れなく！(再放送は当日の15:00と21:00です)

1/7(火)「たんぼぼの会」

親子がゆったりくつろげてホットとできる居場所「子育てほっとサロンたんぼぼ」を南林間で開いています。



1/21(火)「引地川水とみどりの会」

大和市内を流れる引地川で清掃活動を行なっている環境NPO団体です。ビーチクリーンアップ参加など他団体との交流やフェスタ、環境フェアに参加しています。



★やまとっこ☆みつけた ★やまとっこ☆みつけた ★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★

最近 家を出る時は、必ず“99円”を持って行く。理由は自治会などでの小銭が溜まってきたから！切掛けはテレビで知った“ボケ防止”の一環。でも帰って来る度に増えている？面倒でつい札を出してしまうのと、小銭を数えていると後ろに並んでいる人が気になって… 望月

今年は体質改善、肉内改造。60何年間、したこともないことに挑戦していきます。手始めに発汗トレーニング。砂風呂、岩盤浴、サウナ。全て他力本願。これじゃあいけないと思っていたら、カッコーフェスタでゴムチューブエクササイズを体験。これならいける!? 関根

逗子に行き、時間が余ったので由比ヶ浜を歩きました。太陽が燦爛と輝く中、砂浜を歩くと強風で砂が舞い、足がおぼつかない状態に。最初は周りに人がチラホラいたのに、ふと気が付くと自分ひとり・・・「いつの間に私は火星に来てしまったのか」・・・ 吉浜

祝賀は毎年大晦日に夫が準備している。先の共育セミナーで学んだ祝い箸の「海山」と「組重」・・・夫に聞けば、実家は京都なので「組重」とのこと。子どもが小さかったころ京都でお正月を迎えたことはあったが、気付かなかった。久しぶりに「組重」を加えた。 櫻井

スタッフの
つぶやき



大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第150号 発行日：2020年1月10日

大和市民活動センター <開館日 月～土 9:00～18:00>

<休館日 12月29日～1月3日・毎月第3月曜日>

〒242-0018 大和市深見西1-2-17

発行：大和市民活動センター 拠点やまと

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788

e-mail:yamato@ar.wakwak.com

http://www.kyodounokiyoten.com/



「やまと国際オペラ協会」は荘厳なモーツァルトのレクイエム！ また、拠点やまと会長 望月が“ドンジョバンニ”をマンドリン伴奏でコラボしました。

市民活動団体交流祭り

カッコーフェスタ 19

を開催しました。



12月15日(日)に大和市民活動拠点ベテルギウスに設置された5組織が一堂に集まり「ベテルギウスまつり」を行いました。センターはカッコーフェスタ'19として23登録団体が参加しました。当日は晴天に恵まれ沢山の人がにぎわいました。



初参加させて頂きました。お子様中心という事で、プチプラの作品販売とレジンワークショップをしました。どちらも大盛況でワークは途中で受付終了。販売もお子様方とのふれあいを感じてとても楽しい1日でした。

ハンドメイドコミュニティ 中野純子



各ブースの様子



大道芸ワークショップ



2階から見た会場